



おくのやすひさ  
奥野泰久議員

### プログラミング教育の考えは

**議員** 文部科学省が小学校の教育課程でプログラミング教育の必修化を検討しているが本市の考えは。

**教育長** 論理的思考の育成を目的としており、国の方針を注視する。

**議員** 各学校にコンピュータを導入して久しいが成果はどうか。

**教育長** 学習に対する興味関心あるいは知識理解の効果があると認識している。

**議員** ITを駆使した形での国力に大きな差が生じ、貿易収支も赤字になっており、国力を上げる策を考えるべきでは。

**市長** 英語教育をしっかりとすることで、プログラミング知識充実も図りたい。



### ため池農業用水路等工事の地元負担金軽減を

**議員** 農業者の減少により、ため池の管理や農業用水路の管理費の負担が大きくなり、改修工事ができず災害にもつながる。地元負担金の見直しはできないか。

**市長** 農業者が減少して改良事業の大きな課題となっており、適切な負担を検討したい。支援制度として、多面的機能支払い等の交付金で農道や水路の維持管理や補修整備、防災・減災の強化を図れる日本型直接支払制度と、耕作放棄地等を借り受け、認定農業者に貸付を行う農地中間管理事業がある。出前講座などで制度の周知を図っていききたい。

**建設産業部長** 明確な時期は言えないが、負担金については見直しも含め検討する。



いぎ まもる  
井木守議員

### 水道料金の早期引き下げを求めて

**議員** 市長が市民の強い要望である水道料金の引き下げを公約したことは意を同じくするものである。ともに実現をめざす立場で、具体的なスケジュール等をたずねる。

**市長** 料金改定の具体的な時期と数値として、標準的な一般家庭で、平成29年4月から月額300円の引き下げを目標に検討する。また、任期中の4年間で1世帯当たり月1000円の値下げを目指す。

**議員** 市長はどの程度の水道料金にすべきと考えるか。思い切った倉敷・福山なみの料金にしないと定住政策にマイナスという現状は変わらないのではないかと。

**市長** 定住促進施策の推進において、水道料金が近隣自治体と比較して割高なことは懸案事項の一つ



である。同じ水源の水を利用して近隣との比較もしつつ検討する。

**議員** 料金体系について、利用量が少ない人の負担軽減の視点からも、基本料金をなくし従量料金への一本化を検討すべきではないか。

**市長** 笠岡市にふさわしい料金体系となるようにさまざまな角度から検討する。

### 公共交通システムの見直しを

**議員** 交通対策課のような専門部署をつくるなど、実際の利用者の声が反映されるよう、市民参加で検討するべきではないか。

**市長** さまざまな機会を捉え、高齢者や学生を初め、皆さまの御意見を聞きしていく。また、専門部署の設置も今後検討する。